

令和3年 10 月感染防止対策協力支援金の申請について

令和3年 10 月1日(金)～10 月 14 日(木)の要請に係る協力支援金については、本要項のとおり申請を受け付けます。

なお、本支援金は、下表の**対象施設を管理する事業者が対象**です。

注)当該期間における要請内容については、北海道の飲食店感染防止対策認証制度の認証の有無によって異なります。以下、同制度の認証を受けている店舗を「認証店」、認証を受けていない店舗を「非認証店」と記載します。

また、要請期間の途中で非認証店から認証店となった場合の取扱いは以下のとおりです。

＜従来、午後9時までに営業を終了している店舗＞

要請期間中に認証店となった場合は、その時点で北海道による要請の対象外となります。このため、認証されるまで非認証店に対する要請に応じていただいた場合に、認証日前日までの支援金を日割りで給付します。

＜従来、午後9時を超えて営業している店舗＞

要請期間中に認証店となった場合であっても、引き続き北海道による要請の対象となります。認証日から認証店に対する要請に応じていただければ、引き続き支援金の対象となります。

対象施設	札幌市内全域の飲食店、カラオケ店（※1）（※2）
要請内容	<p>＜認証店＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢営業時間は午前5時から午後9時まで ➢酒類の提供（利用者による酒類の店内持込みを含む）は、午後8時まで <p>＜非認証店＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢営業時間は午前5時から午後8時まで ➢酒類の提供（利用者による酒類の店内持込みを含む）は、午後7時30分まで <p>＜共通事項＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢同一グループの同一テーブルへの入店案内を原則4人以内とする。 ➢業種別ガイドラインや感染防止対策チェック項目を遵守する。 ➢飲食を主として業としている店舗等では、カラオケ設備の利用を行わない。 ➢飲食を主として業としていない店舗においてカラオケ設備の提供を行う場合、利用者の密を避ける、換気の確保等、感染対策を徹底する。
対象期間	令和3年10月1日（金）から10月14日（木）まで（14日間） 遅くとも、令和3年10月4日（月）からご協力いただくことが必要
金額	企業規模や売上高等に応じ、 <u>店舗ごとに1日当たりの支援金額（※4）</u> を算出し、支援金を支給

※1 飲食店については、施設内で食事をするのが目的の施設が対象となります。また、飲食店、カラオケ店いずれも対象期間開始の前日（9月30日（木））時点で、「飲食店営業許可」又は「喫茶店営業許可」を取得のうえ、営業実態があることが必要です。

※2 酒類提供の有無にかかわらず、認証店は従来から午後9時を超えて営業を行っている店舗、非認証店は従来から午後8時を超えて営業を行っている店舗が対象となります。

※3 協力開始が10月1日（金）よりも遅れた場合は、ご協力いただいた日数に応じた支援金額となります（例えば、10月2日（土）からご協力いただいた場合は、1日分の

減額となります)。なお、要請内容に10月5日(火)以降からご協力いただいた場合は、支援金の支給要件を満たさず、一切支給できませんのでご注意ください。

※4 店舗ごとの1日当たりの支援金額については、**下記の方法で算出**します。

1 店舗1日当たりの支援金額の算出方法について

①店舗ごとの「1日当たりの売上高」を以下の方法で計算します。

【計算式】1日当たりの売上高＝「2019年又は2020年の10月の売上高」÷31日

※売上高は、**飲食部門の売上高(消費税及び地方消費税は除く)**のみで計算します。

※飲食部門の売上高には、原則としてデリバリーやテイクアウト、物販等の要請対象外の行為の売上高は含まれません。カラオケボックスにおけるカラオケ設備の利用停止については、今回の北海道による要請内容に含まれないため、カラオケボックスの室料は売上高に含めないこととなります。

②計算した「1日当たりの売上高」をもとに『(A)売上高方式』又は『(B)売上高減少額方式』のいずれかで店舗ごとの1日当たりの支援金額を計算します。大企業は(B)売上高減少額方式のみとなります。

『(A)売上高方式(中小企業、その他法人、個人事業主が選択可)』

【計算式】

期間	計算式 (計算結果は、千円未満切り上げ)	1日当たりの支援金額の 下限額及び上限額
10月1日 ～10月14日	上記①で計算した「1日当たりの売上高」×0.3	下限額：2.5万円、上限額：7.5万円

計算の結果が、下限額を下回った場合は下限額での支給となります。

『(B)売上高減少額方式(大企業、中小企業、その他法人、個人事業主が選択可)』

【計算式】

期間	計算式 (計算結果は、千円未満切り上げ)	上限額
10月1日 ～10月14日	(上記①で計算した「1日当たりの売上高」－「2021年の1日当たりの売上高」)×0.4	上限額：20万円又は(上記①で計算した「1日当たりの売上高」×0.3)のいずれか低いほう

※「2021年の1日当たりの売上高」は、「2021年の10月の売上高」÷31日で算出します。

実際の申請にあたっては、申請書に掲載している手順等に沿って、金額の算出及びご記入をお願いいたします。

【企業規模の定義】中小企業基本法に基づき以下のとおりとなります。

●中小企業

＜飲食業＞

「資本金の額又は出資の総額」が5,000万円以下の会社又は「常時使用する従業員の数」が50人以下の会社・個人

＜カラオケなどのサービス業＞

「資本金の額又は出資の総額」が5,000万円以下の会社又は「常時使用する従業員の数」が100人以下の会社・個人

●大企業

＜飲食業＞

「資本金の額又は出資の総額」が5,000万円を超え、かつ「常時使用する従業員の数」が50人を超える会社

＜カラオケなどのサービス業＞

「資本金の額又は出資の総額」が5,000万円を超え、かつ「常時使用する従業員の数」が100人を超える会社

札幌市への申請概要

【受付期間】

令和3年10月15日（金）から令和3年11月30日（火）まで【消印有効】

【申請書類の郵送先】※感染症の拡大防止の観点から、持参による申請は受け付けいたしません。

〒060-8412 令和3年10月感染防止対策協力支援金事務局（※住所の記載不要）

※ 申請書類等は、以下よりダウンロードすることが可能です。

札幌市公式ホームページ

(URL) https://www.city.sapporo.jp/keizai/chusho/taisakusienkin_1001iko.html

【問い合わせ先】011-330-8396（専用ダイヤル）

受付時間 午前8時45分から午後5時15分まで

（令和3年10月31日までは、土日祝日も対応。11月1日以降は平日のみ）

札幌市への申請について

I 支援金の概要

【給付の考え方】

札幌市内全域の対象施設のうち、営業時間の短縮等により、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策にご協力いただいた施設（店舗）を管理する事業者を対象に、支援金を給付いたします。

※ 酒類提供の有無にかかわらず、認証店は、従来から午後9時を超えて営業を行っている施設が対象です。非認証店は、従来から午後8時を超えて営業を行っている施設が対象となります。

II 申請要件

本支援金の申請者は、次の全ての要件を満たす者であること。

1 札幌市内において対象施設を管理する法人又は個人事業者

※ 市内対象施設を管理する事業者の本社が、市外にある事業者も支給対象となります。

※ 市内に複数の施設を管理している事業者は、取組を行った施設分を一括して申請してください。この場合、各施設の給付金額を合計した金額を支給いたします。

2 対象期間開始の前日時点で、「飲食店営業許可」又は「喫茶店営業許可」を取得の上で営業実態のある対象施設を管理する事業者

※ 1つの施設を複数の事業者が共同で管理しているような場合、代表して申請を行う事業者のみ対象となります。

3 対象期間の全てにおいて、要請内容の全てに取り組んだ対象施設を管理する事業者

【対象期間】
令和3年10月1日（金）から10月14日（木）まで（14日間）
【要請内容】
<p><認証店></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤営業時間は午前5時から午後9時まで ➤酒類の提供（利用者による酒類の店内持込みを含む）は、午後8時まで <p><非認証店></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤営業時間は午前5時から午後8時まで ➤酒類の提供（利用者による酒類の店内持込みを含む）は、午後7時30分まで <p><共通事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤同一グループの同一テーブルへの入店案内を原則4人以内とする。 ➤業種別ガイドラインや感染防止対策チェック項目を遵守する。 ➤飲食を主として業としている店舗等では、カラオケ設備の利用を行わない。 ➤飲食を主として業としていない店舗においてカラオケ設備の提供を行う場合、利用者の密を避ける、換気の確保等、感染対策を徹底する。

【参考情報】

- * 業種別ガイドライン
【内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室のページ】
(URL) <https://corona.go.jp/prevention/>
- * 感染防止対策チェック項目
【北海道のページ】
(URL) https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/3/8/1/1/9/2/4/_/checklist_v2.pdf
- * 社交飲食業における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン
【全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会のページ】
(URL) <http://zensyaren.net/>
- * オーセンティックバーにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン
【一般社団法人 日本バーテンダー協会のページ】
(URL) <http://www.bartender.or.jp/covid19guideline20210414>
- * カラオケボックス等の歌唱を伴う飲食の場における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン
【一般社団法人 カラオケ使用者連盟のページ】
(URL) <https://www.kua.or.jp/>
- * 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（改正）に基づく外食業の事業継続のためのガイドライン
【一般社団法人 日本フードサービス協会のページ】
(URL) <http://www.jfnet.or.jp/contents/safety/>

4 申請事業者が、次のいずれにも該当していないこと。

- (1) 事業の代表者、役員又は使用人その他の従業員若しくは構成員が暴力団員（暴力

団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下本項において「法」という。）第2条第1項第6号の暴力団員をいう。以下本項において同じ。）である場合

- (2) 暴力団（法第2条第1項第2号の暴力団をいう。以下本項において同じ。）又は暴力団員が経営に実質的に関与していると認められる場合
- (3) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員の利用等をしたと認められる場合
- (4) 事業の代表者、役員又は使用人その他の従業員若しくは構成員が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持若しくは運営に協力し、又は関与していると認められる場合
- (5) 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められる場合

Ⅲ 申請手続き等

1 本支援金の申請に必要な書類等の入手先

- (1) 札幌市公式ホームページ

【URL】 https://www.city.sapporo.jp/keizai/chusho/taisakusienkin_1001iko.html

※ 申請書類等をダウンロードすることが可能です。

- (2) 札幌市役所本庁舎1階パンフレットコーナー及び各区役所

2 申請書類の提出

「申請書類について（P5～）」に記載の申請書類を提出してください。

- ※ 必要に応じて追加書類の提出及び説明を求めることがあります。
- ※ 申請書類のご提出前に必ず写しを取り、お手元で保管してください。
- ※ 提出いただいた書類の返却はいたしません。

3 申請受付方法及び申請受付期間

令和3年10月15日（金）から令和3年11月30日（火）まで

【郵送先】

〒060-8412 令和3年10月感染防止対策協力支援金事務局
(※住所の記載不要)

- ※ 令和3年11月30日（火）の消印有効です。
- ※ 簡易書留や一般書留、レターパックプラス（郵便物の追跡ができる方法で、かつ配達時に受け取り確認がされるもの）で郵送してください。
普通郵便でお送りいただいた場合、書類の不着により申請が受け付けられない場合があります。
- ※ 切手を貼付、裏面には差出人の住所及び氏名を必ずご記載ください。料金不足の場合には、返送させていただきます。
- ※ 感染症の拡大防止のため、持参による申請は受け付けいたしません。郵送でのみ申請を受け付けいたします。

4 支給の決定

申請書類を受理した後、その内容を審査の上、適正と認められる場合に支援金を支給します。審査の中で不明な点などがあれば、電話等により内容の確認をさせていただく場合があります。その際、期日までに必要書類の提出がない等の場合には、申請を取り下げたものとみなされる場合がありますので、ご注意願います。

また、申請書に記載いただいた支援金額等の修正が必要な場合、電話等により修正後の金額等についてご説明させていただくことがあります。

5 通知等

申請書類の審査の結果、本支援金を支給する旨の決定をしたときは、後日、支給に関する通知を発送します。一方、審査の結果、本支援金を支給しない旨の決定をしたときにも、不支給に関してご連絡いたします。

IV その他

- 1 本支援金の支給決定後、申請要件に該当しない事実や不正等が発覚した場合は、札幌市は、本支援金の支給決定を取り消します。既に支給済みの場合は、申請者には支援金を返還していただきます。
- 2 申請書類に記載された情報を公的機関（税務当局・警察署・保健所等）に提供する場合があります。
- 3 誓約書（様式2）に記載している全ての事項について、誓約していただきます。

申請書類について

1 申請書（様式1）

支給金額の算定にあたっては、**飲食部門の売上高（消費税及び地方消費税を除く）**に記載いただきます。飲食部門の売上高には、原則としてデリバリーやテイクアウト、物販等の要請対象外の行為の売上は含みません。

振込口座については、必ず申請者名義の口座をご指定ください。法人の場合は当該法人名義の口座に限ります。

2 誓約書（様式2）

本支援金の申請にあたって誓約いただく事項を必ずご確認ください。また、必ず自署してください。

3 売上高 及び 営業実態が確認できるもの

○【法人・個人事業者共通】

1日当たりの売上高を算出した年（2019年又は2020年）の10月の売上台帳等の帳簿の写し（申請を行う全ての施設分）

※ 中小企業の店舗で、1日当たりの売上高が8万3,333円以下の場合は、売上高に関する書類の提出は不要です（詳細は申請書にてご確認ください）。

この場合、当該施設の1日当たりの支援金額は、「売上高方式」の下限額（2.5万円）となります。この場合でも、営業実態の確認のため、直近の確定申告書の写しはご提出いただきます。

※ 売上高が明確に確認できる書類を提出できない場合は、「売上高方式」の下限額で当該施設の支援金額が算出されます。この場合でも、営業実態の確認のため、直近

の確定申告書の写しはご提出いただきます。

※ 申請を行う全ての施設分必要です。また、年月・事業者名・店舗名・月の売上合計・事業別の売上（複数事業を営んでいる場合のみ）が記載されたものをご提出ください。

※ 大企業等、売上高減少額方式の場合には、2021年の10月の売上台帳等の帳簿の写しも必要です。

○【法人の場合】

① 1日当たりの売上高を算出した年の確定申告書の写し（「別表一」の控え。なお、收受印が押印されたものに限る。電子申告の場合は、電子申告の受信通知を別途添付）

※ 創業後間もなく、決算期や申告時期を迎えていない場合は、「法人設立・設置届出書」の写し

②①と同年の法人事業概況説明書（月別売上高）の写し（「売上高方式」の下限額で申請される場合は、提出不要となります）

③履歴事項全部証明書の写し

○【個人の場合】

① 1日当たりの売上高を算出した年の確定申告書の写し（「第一表」の控え。なお、收受印が押印されたものに限る。電子申告の場合は、電子申告の受信通知を別途添付。個人番号を塗りつぶしたもの）

※ 創業後間もなく、決算期や申告時期を迎えていない場合は、「個人事業の開業・廃業等届出書」の写し

②青色申告決算書（月別売上高）の控えの写し（「売上高方式」の下限額で申請される場合は、提出不要となります）

※ 收受印がない、受付日時が印字されていない場合は「納税証明書（その2）所得金額用」もあわせてご提出ください。（個人事業者のみ）

※ 審査にあたり、必要に応じて追加の資料提出を求められることがあります。

4 営業に必要な許可を取得していることが分かるもの（申請を行う全ての施設分）

○ 飲食店営業許可書又は喫茶店営業許可書の写し

※ 営業許可証に記載された名義が申請者と異なる場合、申請者との関係性を示す資料をあわせてご提出ください（住民票の写しなど）。

5 業種・業態・従前の営業時間が確認できるもの（申請を行う全ての施設分）

○ 施設の宣伝チラシ、ホームページ、SNS画面、外観（社名や施設名入り）及び内景の様子が分かる写真、飲食店情報サイト、雑誌の写し など

○ 料理や飲み物を提供していることが分かるメニューの写し、写真 など

6 要請に協力いただいたことが分かるもの（申請を行う全ての施設分）

○ 対象期間中に営業時間の短縮（終日の休業を含む）等の取組を行ったことが分かる施設での告知チラシ、掲示物、店舗のホームページ、SNS画面、DMの写しなど

7 口座振替を希望する口座の通帳の写し

口座名義人、口座番号、口座種別、金融機関名、店舗名が分かるページの写し

8 本人確認書類の写し（個人事業者のみ）

運転免許証、パスポート、保険証等のいずれかの写し

※ 現住所等が裏面に記載されている場合は、裏面の写しもお願いします。

9 北海道飲食店感染防止対策認証制度の認証書の写し（認証店のみ）

認証店については、道から交付された「認証書」の写しを提出してください。

◆道庁HP「飲食店における感染防止対策の認証の申請募集について」

(URL) <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/78518.html>

10 その他

提出いただいた書類は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。書類の記入にあたっては、鉛筆や消せるボールペンは使用しないでください。

令和3年4月以降の支援金を申請された皆様へのご案内

下記の支援金を申請された事業者及び店舗については、提出書類のうち次の書類を省略することができます。

＜支援金の名称＞	＜対象期間＞
・「令和3年9月緊急事態措置延長協力支援金」	9月13日（月）から9月30日（木）まで
・「令和3年8～9月感染防止対策協力支援金」	8月27日（金）から9月12日（日）まで
・「令和3年8月感染防止対策協力支援金」	7月26日（月）から8月26日（木）まで
・「令和3年7月感染防止対策協力支援金」	7月12日（月）から7月25日（日）まで
・「再まん延防止等重点措置協力支援金」	6月21日（月）から7月11日（日）まで
・「緊急事態措置延長協力支援金」	6月1日（火）から6月20日（日）まで
・「まん延防止・緊急事態措置協力支援金」	5月12日（水）から5月31日（月）まで
・「令和3年度 感染防止対策協力支援金」	4月27日（火）から5月11日（火）まで

【提出を省略することが可能な書類】

1 事業者単位で省略が可能なもの

○ 「3 売上高 及び 営業実態が確認できるもの」のうち、

- ① 1日当たりの売上高を算出した年（2019年又は2020年）の確定申告書の写し
- ② 法人事業概況説明書（月別売上高）の写し
- ③ 履歴事項全部証明書の写し

なお、①と②については、上記支援金に申請したときと同年のものを使用する場合があります。

○ 「7 口座振替を希望する口座の通帳の写し」

注 上記支援金の申請書に記載いただいた振込先口座と同一の口座を指定して申請を行う場合に限りです。

○ 「8 本人確認書類の写し（個人事業者のみ）」

注 上記支援金と同一の申請者が申請を行う場合に限りです。

2 店舗単位で省略が可能なもの

○ 「4 営業に必要な許可を取得していることが分かるもの」

注 令和3年10月14日の時点で、許可証の期限が有効である場合に限りです。

○ 「5 業種・業態・従前の営業時間が確認できるもの」

注 上記支援金の申請書に記載した施設に限りです。

新規開業（開店）の場合

令和2年10月2日以降に開店の場合、開業日（開店日）に応じて、次ページの方法で「1日当たりの売上高」を算出します。

※令和3年10月1日以降に開業（開店）の場合は、本支援金の対象外です。

※開業（開店）日は、営業許可書や開業届等の客観的に明確な資料の日を参照します。

【計算方法】	
開業日（開店日）	「1日当たりの売上高」の計算方法
令和2年10月1日以前	通常どおり計算 (2019年又は2020年の10月の売上高の合計) ÷ 31
令和2年10月2日から令和3年9月30日	(開業日から令和3年9月30日までの売上高の合計) ÷ (開業日から令和3年9月30日までの歴日数)

参考：支援金額の計算手順フロー

※実際のご申請にあたっては、申請書に沿って計算をお願いします。

